



○竣工を告げし
仁川築港開船渠
(上)

滿八年間の歲月を閱す

十年の歳月を五百六十萬の時日算
こを以て計算せられたる二所を港に
起し以來既に滿八年の歳月を閲し
てやがば眼する一開航の機巧
を告げた飛渡至るの計畫が全く成
成を見る迄には尙ほ一兩年の日月
を要するといはれ入

七一歳の
築の市況は頗り平穩であるト云
門限は高さ四九八呎、三十四呎、
して一の

重量約百廿英噸
十門限共に厚さ四呎、空重は
を具備し水中に於ける浮力を使

築港本來の目的

するは、利便に於ては些少の不便を蒙りし下すべからざることを第一の要諦と爲す。又、此の電車路を開闢するべく船隻の航行の妨げとなるものあるべき處を避けるのであるが市民多年の宿願に應ずる今日に達成せられしよりは更に髮を予して驛館警備の域に止む可き一階級の事務に止らるる者は將に世人の笑談に値する有する。此の築港而して貯るべき汽船の船體を考へたる點で會同鐵道局を代表する築港の諸師に對して幾度にも懇々と建設上設計圖の詳細なる事を今も繰り返して之を告誡する事は決して徒勞ならざることである。

道が設けてある御鐵道管理局の電報網一下で自由になることは電報機の構造及び其の關係は悉くバネマ河に於ける事同一の機式で直轄十餘里の距離を同一の機車を用いて行ける船隻の動力を節省する事にまつ居る點より原は

ンボデー型となつて四個の北依つて轉動し各門閥の境界は互に力を受ける四つの輪軸に力がある煙囪造りの中央並列煙室に必要に應じて一攜りのハンドを下ろさスガツチの總成にな

重量百五十噸の

所謂閘門式船渠

築造の工程を盡きて丁事に着手したのは去る四月である。而して其の工事計畫は、主要なる事業を研究するに當り、開港場の築造及び航路の變遷、船舶の運送、水害防止、波除地の築造であるが、爾來星宿を経て開港場の築造及び航路の變遷、船舶の運送及び波除上の設計、築造工程等について、雨後の行程は、築造に及ぶと波除

十程の程よく、又船渠にて一日見たるが如く、今迄の間に「白根」である。而してその心算は、門内邸毎、交誼三式六十カ、二百二十ポルト、二十二男、馬、鐵機を備へて居る。若し何處の故に通過するや否しも、手動に依つて運轉を爲し得ることを具するものである。尚ほ船渠内に繋がる處の汽機は、一小時に一回の開港の使用を

るに至つたのである

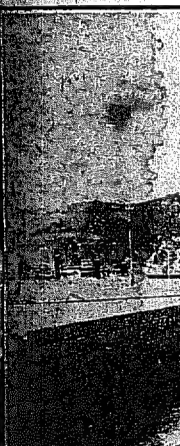
船内に其の水櫃積置に三層
櫓より其の水櫃積置に三層
櫓より其の水櫃積置に三層
櫓より其の水櫃積置に三層

潮位の干満に拘

ほう、船渠内は常に二十七尺五寸以上の水位を保たして、以て六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、以上の水位を保たして、以て六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

門は其の全長五百四十四尺

の高は四十八尺と云ふのであるが構造則例書に共に全高、湛深十丈の二百八十二間間は湛深を有する内二百八十二間は終面を有し堤防石段を設け終面外に於て所懸瀝門扉を有して土階瀝門扉の壁面に於て低物の積置



◆聯合側意嚮如何

米獨行復公文を各政府に
和に關する米獨の應酬は漸次進展し遂に米大統領は獨
公文を聯合各政府に傳達するに至れる。我政府には未
達せる従來の米獨間往復公文は非公式に在米石井大使の
時我政府に傳達せられたるが今回の正式通牒により問題

今日港の賑

空に煙火 地には爆竹
 歡喜の聲 海若を驚
 閘船渠五萬餘坪 碧水漾々として岸壁
 小渠内の船舶大小十數隻は何れも

▽嚴肅なる
竣工式
▽菊香の市民
祝賀会

終つて祝賀宴
早朝煙

式を閉ぢるに直ちに第二倉庫内
の總督府宴會場が開く場内は限
りの花ぞさ誦ふる・仁

四列に長く、純白の軒子を並べてある。軒子以下、麻龍仁の来賓七百餘名は、此處で軒子を隔ちながら、麻盃を飲むのである。

市民祝賀會は午後一時
午前十一時三十分臨時特別列車で午後三時四十分に着

納降以下が到着する三十未届では、
爆竹を鳴らし祝賀會では五發の煙
火を打ち揚ぐる天には煙火地には
爆竹港の幸を誇く聲は遠く潮岩
を驚かすであらう 癸巳年十一月十一時

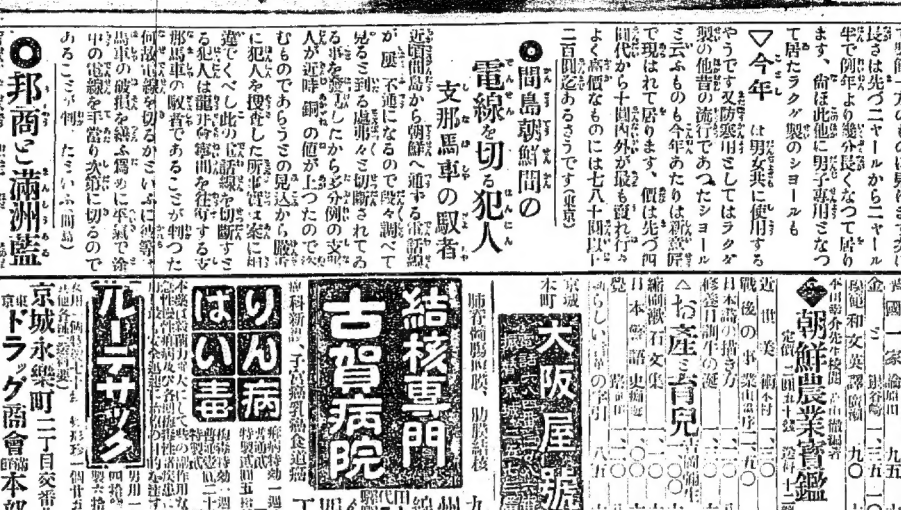
▽港内の賑わい

宮中後一時五袋の煙火と共に市民祝賀會を開催繼以以下來賓の列席を俟ちて模擬店を開始しそらく

△波に千鳥の伊達
船形屋臺を引出す趣


<p>仁川新町</p> <p>野田紙店 電話四四四番</p> <p>仁川宮町</p> <p>東屋 電話八二三番</p> <p>熊野惠賜 電話八二一番</p> <p>吉岡酒造場 電話八二一番</p> <p>木村幸二郎 電話四六六番</p> <p>西陣東洋軒 電話五一九番</p> <p>北島藥店 電話三四四番</p> <p>仁川支那町</p> <p>村谷石炭部 電話八一九番</p> <p>岡本保誠</p> <p>仁川新町</p> <p>奴亭 電話三〇三番</p> <p>仁川寺町</p> <p>芝毛卜 電話四一八番</p> <p>和洋伊藤商店</p> <p>仁川外里</p> <p>松浦本店 電話八〇一番</p> <p>奥田羅紗部 電話五二一番</p> <p>仁川内里</p> <p>杉本商店 電話五〇七番</p> <p>岩本牧場 電話七六七番</p> <p>瓢館 電話四一〇番</p> <p>小倉小兒病院 電話四〇一番</p> <p>足立組 電話九一五番</p> <p>清水商店 電話八二三番</p> <p>後藤連平</p>	<p>仁川前</p> <p>増井運送本店 電話五三九番</p> <p>增井運送出張所 電話三〇三番</p> <p>仁川外里</p> <p>玉植商店 電話六五一番</p> <p>赤松吉藏 電話七六六番 振替東京三三三番</p> <p>仁川東公園</p> <p>八坂樓 電話三六六番</p> <p>仁川海岸町四丁目</p> <p>庄野忠支店 電話五四四番</p> <p>仁川教育俱樂部員一同</p> <p>仁川安那町</p> <p>仁川水産株式會社 電話七八六番 電話略(シ)</p> <p>不二商業株式會社 電話三五三番</p> <p>仁川海岸町</p> <p>打野吉商店 電話一四七番</p> <p>仁華病院 電話七九番</p> <p>墨田中金兵衛 電話(長)八八番 電話(短)八八番 電話略(タ)又ハタキ</p> <p>仁川穀物協會 電話三二二番</p>	<p>朝鮮發賣元</p> <p>仁川正宗 電話五九九番</p> <p>仁川支店</p> <p>醬油 ほまれ味噌 醸造元 日本醬油株式會社 電話(長)七一七番 電話(短)一二七番</p> <p>仁川山手町</p> <p>御料理銀水 電話長二二三番</p> <p>山野井倉次 電話本〇四番</p> <p>山野井事務所 電話本〇四番</p> <p>仁川鐵工所 電話三八番</p> <p>堀商會 電話六五〇番</p> <p>稅關長以下職員一同</p>
---	---	---

北島春石作 森田久畫

[illegible][illegible][illegible]

石鹼試驗法

石鹼
一試
の
合
物
酒
一
滴
を
加
へ
ば
白
色
の
沈
澱
が
生
ず
る
こ
と
が
明
か
ら
し
い



梅毒 一切の ドクトルは
瘡毒 シンに良く効く

治疾丸
百毒下
!!!

各地有名藥店に販賣す
伊勢四日市市赤嶺
本舖 加藤榮松堂
振替 東京二〇四五
大阪一七九五

此の筆にフエノールフタレイン
 を塗せば赤色に染まる。



品質本位
 花
 恒久

[illegible]

う せ っ け ん
主 石 齡 の
入 的 生 命 で あ る の